

ダーナ

浄土宗平和協会会報 VOL.

Dana

27

「ダーナ」とはサンスクリット語で、「布施」の意。

ダーナ●第27号
発行日●平成27年12月25日
編集／発行●浄土宗平和協会（JPA）
発行人●川副春海

Jodo Shu Peace Association

「お念仏の行を全く信じようとしな
いと議論しあったり、また、お念仏以外
の行を修したり、私たちとは異なる理
解をしている人に向かって、お念仏の
教えを強制してはいけません。異なる
教えを学び、異なる理解をしている人
に対しては、彼らを敬いこそすれ、軽
んじ侮るなどのことをしてはいけませ
ん。」（津戸の三郎へつかわす御返事）

法然上人が13世紀初頭、鎌倉の武
者へ書いた手紙の一節である。久しぶ
りに法然全集を読み返して、この言葉
に出会った時、戦慄にも似た驚きを感じ
た。宗教的寛容どころか、異教徒に
「敬う」ところを論しているのである。

ローマ帝国のキリスト教国教化(テ
オドシウス一世・4C)以来、宗教的
対立によって欧州の地でどれだけの血
が流されたか。異端審問、宗教戦争、
とりわけプロテスタント国家オランダ
独立に伴う八十年戦争(1568～)、ポ
ヘミアの反乱で始まった三十年戦争
(1618～)は全欧州諸国を巻き込ん
での、カトリックとプロテスタントの
戦いだ。政治的にはウエストファー
レン条約(1648)で決着を見たが、西欧
の宗教的寛容の思想はジョン・ロック
(1632-1704)をまってやっと確立さ
れた。17世紀末のことである。

「いかなる私人も、教会や宗教の違
いを理由として、他人の社会的権利の
享有をそこなう権利を持つてはおりま
せん。たんなる正義という狭い限度に
満足することなく、慈愛、博愛、寛大
がそれに加えられねばなりません。」
(寛容についての書簡)

法然上人の言葉から約500年経って
いた。

川副春海理事長に聞く 宗教的寛容にみる 法然上人の平和への希求

翻って現代、宗教に起因したテロリ
ズムという悪魔が世界中を跋扈して
いる。2001年の9.11アメリカ同時多発
テロ事件にはじまって、2005年バリ島
爆破テロ事件あたりから、イスラム教
徒過激派によるテロが後を絶たない。

タリバーン、IS(イスラミックステ
ート)など中東のオイルマネーから密か
に支援を受けたイスラム狂信者の群
れが、現れては消える。

いつになったら、宗教的対立によ
る戦争、紛争、テロは収束するので
あろうか。テロを武力によって弾圧し
たところで、負の連鎖、憎悪の連鎖が
起き、どこかでテロが発生することは
目に見えている。欧州キリスト教が、
ジョン・ロックの寛容の思想に到達す
るまで、1000年以上の時を必要とし
たように、これからずっと、無辜の市
民の血が流されるのだろうか。

法然上人の出家のきっかけは、この
憎悪の連鎖を絶つことにあった。夜襲
を受けた父漆時国はいまわの時にこう
言う。

「おまえは、^{かいけい}会稽の恥をはらそうと思っ
て、敵を恨んではならない(中略)お
まえが怨み心を持ったならば、その怨
みは何世代にわたっても尽きがないで
あろう」(法然上人行状絵図)。

憎悪の連鎖を絶つため、出家し、革
新的ともいわれる浄土宗を立宗した後
も、常に他者の信仰を敬えと説いた法
然上人。上人の教えには、深いところ
で平和への希求が存在しているの
である。



ブック・ギフトin Tokyoで図書を授与する川副理事長

今年36名の受賞者に贈呈 ～ブック・ギフト贈呈式を3か所で開催～

私費留学生に希望の図書を贈呈するブック・ギフトは、11月から12月にかけて、東京（大本山増上寺）、名古屋（建中寺＝名古屋市東区）、関西（大本山百万遍知恩寺）の3カ所で行われた。3会場で合計36人の留学生が、嬉しそうに希望図書を受け取った。ブック・ギフト活動は、浄土宗平和協会（JPA）の主要な活動の一つで、東京都、関西圏、愛知県の大学に通学する私費留学生に、日本語でレポートを書けば、1万円以内の希望する図書を受領できるというもの。本年度の作文のテーマは、「故郷を考える」、外国人とは思えない流ちょうな日本語で書かれたレポートが集まった。

第8回目を数える東京会場の贈呈式は、例年通り大本山増上寺大殿を会場に、11月29日に行われた。青山学院大学、駒澤大学など8大学から12人（1人欠席）の応募があり、川副春海浄平協理事長から図書を受け取った。国籍別では中国9名、台湾1名、タイ1名、フィリピン1名。

第5回目となる関西会場は、12月6日に大本山百万遍知恩寺で行われた。12人の応募者は、京都大学、大阪大学など6大学からの応募で、国籍別では中国8名、ベトナム4名で会った。当日は、福原隆善台下より直接図書を受け取ったほか、御影堂で数珠繰りなどを体験した。

3回目となる名古屋会場では、中国9名、韓国3名の12人の応募があった。名古屋大学、名古屋工業大学など5校からの応募で、12月13日、建中寺本堂で、書籍を受け取った。その後、建中寺の徳川家墓所を見学したほか、抹茶の接待を受けるなど日本文化の一端を体験した。三カ所全体で、大学院生22人、学部生12人、研究生2人（詳しくは別掲記事参照）。

台湾の環境問題

潘 凱文（台湾・青山学院大学）

私の故郷は台湾です。日本に來日することにより、一層台湾のことを考えるようになりました。理由は、日本の方に「台湾人」と答えると必ず台湾のことを聞かれるからです。そのため、以前私自身も考えていないことを友人に問いかげられるがきっかけで、台湾にいる時より「台湾のこと」を考えるようになりました。更に、これをきっかけに私自身の故郷である「台湾の空気汚染

の環境問題」について考えるようになりました。理由は、私自身が台湾に在住していた際の体験談にあります。その中で特に印象強かったことが2つあります。

ひとつめは、台湾に在住している頃はアレルギー性鼻炎がひどく、私生活に大きな影響を及ぼしていたからです。具体的には、私は中学時代の時に鼻炎のため、水泳の練習はもちろん、授業も休みがちな日々が続きました。そして、あまりの鼻炎のひどさに何度も「死にたい」と考えるようになりました。両親にも相当な迷惑をかけたと思

いますし、自画自賛ではありますが、当時は本当によく水泳や勉強を両立して頑張り通せたと思っています。

ふたつめは、台湾の窓は日本みたいに容易に開けられません。それは、黄砂と工場から出る煙がひどいからです。更に、空気汚染のひどさの具体的な例をあげます。

台湾は車を洗う習慣がありません。その理由は「車を洗う」のが無意味だからです。何故なら朝方に車を洗っても夜になったらフロントガラスは埃まみれになっているからです。そして、この問題を友人に語るうちに、私自身が解決しなければいけないという責任感が芽生えました。

以上の2点から、日本企業では当たり前のように取り組んでいる「企業の社会的責任」を痛感しました。そして、台湾企業もこうした「企業の社会

的責任」を自覚してマネジメントしてもらいたいと願っています。

社会の繁栄は企業に支えられているため、より人々の生活を繁栄させるには企業が単に自社の利益を出すためだけではなく、民衆のことをしっかり考えてマネジメントを行う必要があると考えています。更に、企業が「社会的責任」をまっとうすることで、多くのユーザーや顧客の心を掴む機会が生まれ、よりお客様を増やすことができるのではないかと私自身考えています。そして、私自身も社会人になったら、こうした問題に積極的にトライしてみたいと同時に、台湾をより一層豊かにしていきたいと考えています。

日本語の教師になりたい

張 敬唯（中国・創価大学）

中国というと、だいたい北京、上海のような大都市を思い出すかもしれない。でも、中国は広くて、すべての町が有名な大都会というのは無理だろう。地域が多い中国では、中国人もあまり知らないところがあり、私の故郷はその中のひとつ、「阜新」という中国の遼寧省に属する小さい町である。

子どもの頃から隣近所に愛されてきた。両親が忙しい時、隣のお婆ちゃんのところまで夕食が済ませられ、できない宿題があったら、隣のお姉さんに教えてもらえる。このような互いに助け合うことがたくさんあり、とても幸せであった。しかし、小さい町なので、観光地が少なく、給料が低いし、名物も足りなかった。もちろん、よくテレビで見るすばらしいものはほとんどなかった。そのため、一生懸命努力してやっと大学に入れ、大都市に行った。

それは海辺の都市で、観光地として、とてもにぎやかな町である。行くたびに好きになって、時々、そこで

生まれた人間たちに羨ましいという気持ちも出て、そんな小さい町で生まれた自分は本当に不幸だと思ってきた。休みの時、故郷に戻り、相変わらず遅れている町だと考え、二度と帰りたくなかった。その後、3年間を経て、大学を卒業した。自分の進路に迷っ

ていて、そんな大きい都市で生きている私、困っている時相談できる人は誰もいなかった。その時、初めて故郷のことを思い出した。確かに実家は小さい町であるが温かい都市ではないか？

何か問題に遭ったら、きっと周りの人に何か教えてもらえるだろう。

そして、故郷に戻ることにした。3年ぶりの故郷は知らないうちに全然変わった。高いビルが増えて、楽しい休みを過ごすため、観光地も8カ所建造した。それで、町が小さくても、給料が高くなっても、買いたい物何でも買え、休みの時、近いところで観光旅行にも行ける。そのうえ、一番大切なのは周りの人と親しくして、毎日楽しんでいる。このような町で生まれた私は本当に幸せな人である。近年、故郷では、経済が発展して暮らし向きもよくなった。ただ、外国語を身につけている人間が少ないので、海外との交流が進んでいない。

そのため、私は今、大きな夢を持って留学生として勉強している。その夢とは、やがて故郷に帰り、日本語の教師になりたいと思っている。その時、私の教える学生たちに本物の日本の文化を教えるつもりである。そして、その日が、何年先の何月何日になるのかわからないが、これからの日々を大切に、そして一生懸命に過ごそうと心に誓っているのである。



大本山知恩寺でのブック・ギフトin Kansaiの授与式

第2の故郷になった日本

金 香娥（韓国・大阪大学）

「故郷」ということばを聞くと、いつも懐かしくなる。不思議なことに、いつも思い浮かぶのは幼い頃見た故郷の姿である。1年に1回、韓国に帰って楽しい時間を送っているが、いつの間にか、通っていた学校は小さくなり、道路は狭くなった。たぶん私が大きくなったのだろう。風景も町の人たちもそのままだったが、私だけが変わっているように思われた。でも、小さい時感じていた町の雰囲気はそのまま感じられる。私は毎年としをとって成長しているが、相変わらずその場所で私が帰るところを作ってくれるのが、ありがたい。

冬休みを迎え、韓国に帰るのを待つのはとても楽しい。飛行機に乗って韓国に向かっているのを想像すれば、とても気持ち良くなる。ところで、最近、韓国に行くのと同じく、日本へ戻ってくるのが楽しくなった。もちろん、家族と空港で別れのあいさつをすることはなかなか慣れなく、いつも悲しい。ただ、日本に戻ってくるのが、最初韓国を離れた時より楽しい。空港からリムジンバスで家に帰る道も、窓から見えるビルも、交通標示も、バスの中で聞

2015ブック・ギフト贈呈内容

- 応募者数
東京…12名 関西…12名、名古屋…12名
- 授与式参加者数
東京…11名 関西…12名、名古屋…12名
- 応募者国
東京…中国9名、台湾1名、タイ1名、フィリピン1名
関西…中国8名、ベトナム4名
名古屋…中国9名、韓国3名
- 応募者大学別一覧（応募者数順）
東京…青山学院大学3名、駒澤大学2名、立教大学2名、国際医療福祉大学1名、昭和大学1名、創価大学1名、拓殖大学1名、中央大学1名
関西…京都大学5名、大阪大学2名、同志社大学2名、京都工芸繊維大学1名、近畿大学1名、神戸市外国語大学1名
名古屋…名古屋大学4名、名古屋工業大学4名、愛知淑徳大学2名、愛知大学1名、愛知県立芸術大学1名
- 応募者在籍一覧
東京…大学院5名 大学6名 研究生1名
関西…大学院9名 大学3名
名古屋…大学院8名 大学3名 研究生1名

こえる日本語も、「家に戻ったな」という感覚を呼び起こす。初めて日本に来た時、何もない部屋の中で一晩中泣いた。「私はなぜここに来たのか」「家族も韓国に置いたまま、一人でできるだろうか」「外国で私は生きていけるのか」などと考えて眠れなかった。韓国に帰国できなかった。

あれからもう2年が経った。学校の近くに引っ越しもした。慣れたことばで授業を聴き、慣れた日本食を食べる。慣れた電車に乗ってバイト先に行き、慣れたスーパーで買い物をする。最初には泣いた部屋から離れ、もっと気に入った部屋で勉強したり、食事をしたりする。たまにこのような慣れに驚くこともある。いつの間にか私は今の日本での生活とても大切に重要な人生の一部になった。

韓国で冬休みを送っていると、日本の家が思い出される。日本の風景が頭の中で広がる。慣れている町の名前やいつも買い物しているスーパー、洗濯物を干している家、自転車に乗って通っている学校など、いつの間にか私の生活の一部になった日本が広がる。



ブック・ギフトin Tokyoの授与者記念写真。

韓国の故郷を考えると、学生時代に遊んでいた思い出が浮かぶ。もう第2の故郷になった日本を考えると、成長した私の青春が浮かぶ。泣いて帰りたいと思うくらい大変な時期もあったが、周りの人たちや努力によって2年を過ごした。いつか韓国に帰るかもしれない。どこにいるかわからないが、たぶんどこにいてもうまくいくと思う。韓国を離れても楽しく過ごせる場所があることに、感謝する。故郷を離れたが、故郷に住んでいる。

一面の菜の花

呉 智偉 (中国・近畿大学)

カウントダウンのアプリを開いたら、もう既に故郷である上海を離れて日本に来てから1265日(約3年5ヶ月)の月日が流れた。この3年間大阪は大して変化はなかったが、上海の郊外にある私の故郷は、ディズニーランドの着工と同時に大きな高速道路や旅館などが雨後の筍のように一気に増えた。その光景を目にする私は嬉しい気持ちと同時に、なぜかやや悲しみをも感じたのである。

インターネットで調べてみたところ、上海の都市化率は88%をも超えて、ほぼ9割が都市になったのである。その残りの1割(私の家の周辺を含め)もいずれ消えてなくなる宿命にあるかもしれない。都市化を否定するつもりはないが、100%都市化してしまうのはどうかと時々考える。

自己紹介をする時、自分は上海から来たというと、相手は必ず「都会っ子ですね」という反応をする。その時は必ず、上海は上海でも、自分は自然豊かな郊外の方に生まれ育ったよと説明するのである。私の家がある村は元々(私が知っている限り

では)毛沢東時代の「生産隊」で、隊のみんなと一緒に農業生産したり、食事と一緒にしたり、いわゆる共同生活をしていたといわれる。その後大躍進(全国民を挙げての製鉄など)の失敗や大規模な自然災害などの原因で、「生産隊」の体制がだんだんと崩れてしまった。村人も農業をやめ、もっと稼げる工場などに入っていったのである。

しかし、農業が大きく衰退してきたものの、自然豊かな土地としては相変わらず昔のまま、のはずであった。私が生まれた2年後、鄧小平が提言した「改革開放」が本格的に推進され、その影響を受け、自分の故郷も大きく変貌しはじめた。最初は水田が村人から取り上げられ、その次に川が埋められ道路が作られた。この20年間唯一変わっていないのが、水田とは別の村人から徴収されていない小さい田んぼを利用して、植えた菜の花が一面に咲く風景である。この一面の菜の花は、正にその花言葉のように、人に「元気」や「小さな幸せ」を与え、人を「明るく前向き」にしてくれる力がある。その「小さな幸せ」もいずれ都市化とともに消えてなくなることを考えたら悲しくて悲しくて……。

清新さと暖かさを

肖 俊 (中国・愛知県立芸術大学)

故郷は中国湖南省の桂陽県です。広東省に隣接して、湖南省の南大門といわれました。大部分は丘陵地帯であり、気候が快適で、四季がはっきりして、亜熱帯モンスーン湿潤気候に属しています。秦と漢の時代に郡県制を設置して以来、2000余年の浮き沈みを経て、現在に至っています。

歴史の長い流れの中で、桂陽県は世間から興味津々に語られています。

「四大発明では桂陽があり、四大奇書では桂陽があり、近代の英雄では桂陽人がいる。オリンピックチャンピオンでは桂陽人がいる」とは桂陽人としての誇りです。周知のように、古代中国の四大発明の一つ、製紙技術の改良者は後漢代の蔡倫です。彼は桂陽に生まれ、人類文明の進歩に多大な貢献をしました。四大奇書の「三国志演義」の中では、蜀漢將軍の趙雲が桂陽を計略で攻め取る物語が記述されました。1960年代、桂陽県出身の中国の模範兵士欧陽海は、砲を積んだ馬が鉄道線路上で暴れたために、馬を線路外に押し出し、旅客列車の事故を未然に防いで殉職しました。2009年9月、欧陽海は「100人の新中国成立以来感動中国人物」の一人に評価されています。2012年、ロンドン五輪射撃の女子エアライフルで金メダル第1号を取った易思玲も桂陽の出身です。

時代の流れとともに、桂陽も改革開放の波に乗っています。私は日本に留学するのが4年間になりました。昨年、一度故郷に帰ると、故郷の変化に驚きました。長年生活した町は、初めてよく知らない気がしました。基礎施設が完備され居住環境がよくなると町が美しくなり、人々の生活もより便

利になります。しかし、私たちは後ろに隠れる自然環境がよくなるなど様々な社会的な問題を心を澄ましてゆっくり考えることが必要です。

大学時代、中国広州でも高層ビルやにぎやかな町が見慣れたものになりました。だから、初めて名古屋に来て驚くことはなかったです。時間が経つにつれて、名古屋が好きになりました。ここに住む人々が好きになりました。整然とした社会の秩序と友好調和な雰囲気清新さや温かさを与えてくれます。私は、故郷が外観を変えたと同時に社会の秩序と雰囲気が一層発展していくことを願っています。

ベトナムに知識を

NGUYEN THI KIEU CHINH (ベトナム・名古屋工業大学)

私は2年半前にベトナムから日本へ留学に来た。日本語を勉強して名古屋工業大学に入学し、今、電気工学科の1年生である。

高校生の時、日本に留学することを一度も考えたことがなかったが、卒業した後、日本語学校の校長先生と出会ったことをきっかけにして、日本に留学することを決めた。前は全然見

えなかったが、ベトナムと発展している日本とは差が大きい。日本に来てから、ベトナムの状況がよく見えて、目が覚めた。ベトナムは発展途上国であり、人々の生活がまだ充たされていない。特に私の故郷は、最近、企業が多くなり、大気汚染や汚染物質で人々の生活に悪影響を与えている。科学技術がまだ発展していないせいか、人々の意識が低いせいか、ベトナムの状況はだんだん悪い方に進んでいる。

私は日本人と出会って、いろいろなことを話し合ったが、日本人は、ベトナムは若者が多くて、きっと発展していくと信じている。しかし、現在のままでいくと、ベトナムは発展できないと思う。そこで、強国の日本に留学できている私はベトナムに何か貢献しないといけないと思う。今、日本人の考え方や働き方などの本をベトナム語に翻訳するグループに参加し、ベトナムの人たちに知識を与えたいと思う。いろいろな知識を知りたい。それが本が欲しいという一つの理由である。

これから知識をたくさん学び、ベトナムの人たちに知識を広げたり、ベトナムの科学技術に貢献したりしたく、一生懸命頑張っていきたいと思う。

ブック・ギフトで私費留学生に贈呈した書籍一覧(一部)

《東京》

金融工学入門 [第2版]、日本語教育事典、非線形経済同額とカオス、流、しゅかり!まとまった!文章を書く、新会社法エッセンス第四版補正版、こころ、社会保障学必携2025年への道標、Onomato pera-pera: An Illustrated Guide to Japanese Onomatopoeia、2カ月で攻略新TOEIC (R)テスト470点、類語大辞典、レイアウトの法則-アートとアフォーダンス、グロービスMBAクリティカル・シンキング [改訂3版]、日本語教育文法のための多様なアプローチ、数理解論入門、心臓母が遺してくれたもの-精神科医の回復への道のり、辞典ではわからない(新)英単語使い方事典基本動詞編、民事訴訟法判例百選~第四版(別冊ジェリスト201)、ノルウェイの森(上下)、医療政策集中講義、耳から覚える日本語能力試験語彙トレーニングN1、2CD付日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド第3版、photoshop-10年使える逆引き手帖、Personal MBA、たった1日で即戦力になるExcelの教科書、アメリカ版大学生物学の教科書第5巻生態学、風景の死滅増補新版、現代中国の父鄧小平(下)、イラストでときめく片づけの魔法、窓際のトットちゃん、詳細日本史図録、日本語能力試験対策N1漢字語彙

《関西》

国会法、食の500年史、エスノグラフィ入門(現場)を質的研究する、プロジェクトジャパン、ひまつの花園(花いっぱい)のめりえブック、中日大辞典(第3版 2010年)、Microsoft Office Specialist Microsoft Word 2013 Expert part1・2、人類の足跡10万年全史、語構成、詳説 正規表現第3版、地域福祉事典、初級を教える人のための日本語文法ハンドブック、新・国会事典第3版、文法と語形成、質的データ分析法:原理方法実践、負ける建築、自然農法わら一本の革命、言語研究のための統計入門、正規表現技術入門、地域福祉の理論と方法、中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック、在日韓国人京大生が教える憲法の視点からの日韓問題、全訳論語、無期懲役囚の校正は可能か本当に人は変わることはないだろうか、火花、くわしく学ぶ世界遺産300、世界遺産検定2級公式テキスト、デジタル作法、脳からの言語研究入門-最近の知見から研究方法まで、東南アジア他民族社会の形成、薬物はやめられる?薬物離脱のワークブック、永遠の0、メンタルヘルスマネジメント検定試験公式テキストII種ラインケアコース、生命40億年全史

《名古屋》

日本語表現大辞典-比喩と類語三万三千八百、ベーシックコーパス言語学、現代マクロ経済学中級コース、石田徹也ノート、金持ち父さんのビジネススクール、中級日本語文法と教え方のポイント、大人の肉ドリル、アツの習慣(人格主義の回復)、ビジネスモデル・ジェネレーションビジネスモデル設計書、世界NO.1トヨタの非常識な45の習慣、東アジア地域形成の新たな政治力学、話すためのアメリカ口語表現辞典、東京百景、コーパスと日本語学、徹底図解社会心理学歴史に残る心理学実験から学際研究まで、ペーパーバック、世界のエリートに読み継がれているビジネス書の38冊、中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック、日本語総まとめN1読解、人生がときめく片づけの魔法、問題解決-あらゆる課題を突破するビジネスパーソンの必須仕事術、世界中で採用されているのに日本人だけが使っていない日本の働き方、亡国の農協改革-日本の食料安保の解体を許すな、英語学大系第10巻2英語史3B、書き言葉コーパス、ミクロ経済、絵も描いて生きていく方法、起業家はどこで選択を誤るのか、初級日本語文法と教え方のポイント

アースキャラバン 2015

浄平協が支援するNGO団体の一つ、NPOユニ主催の「アースキャラバン2015」。終戦70周年の2015年夏、世界各地で平和の祈りの祭典を行い、一人一人の平和の願いを世界でシェアしようとの趣旨で「平和の火」を広島からエルサレムへ運ぼうという壮大なイベントは、7月15日にスタートし、8月12日にエルサレムでのイベントを最後に終了しました。

アースキャラバンは、国籍・人種・宗教の違いを乗り越え、戦争を無くすことを誓い合い、その誓いを世界中に発信する世界規模のイベントです。2015年夏、広島、京都、東京、ヨーロッパ、中東で開催され、世界各地で多くの反響がありました。

浄土宗平和協会では、その趣旨に賛同し、NPOユニとの共同主催という立場で、特に京都、東京でのイ

ベント開催を支えました。

イベントの象徴は「平和の火」を広島から東京へ運ぶ「ピースサイクリング」。平和の火とは、福岡県の星野村の「平和の塔」で大切に受け継がれてきた広島に投下された原爆の残り火のこと。戦後70年目、平和への願いを世界に伝えたい！と決心したイギリス人女性のスーザン・エディさんとその仲間たちが、広島から東京まで「平和の火」を届けました。

「平和の火」はアースキャラバンイベント会場である、広島、京都、東京をスーザンさん達が運び、広島の平和記念公園、京都知恩院、東京増上寺をはじめ世界各地で「平和の火」と共に、祈りを捧げました。その願いは先走した後も受け継がれ、ヨーロッパを経由し、最終地点エルサレムへ平和の願いを込めて運ばれました。

その間、各地ではピースコンサートや音楽念仏法要、趣旨に賛同様々な団体によるチャリティマーケットなどが開催、平和を願う人々と交流の我が広がりしました。



京都・知恩院 クリス・モズデルさんの詩の朗読



東京・増上寺 ステージの出演者も国際色豊か



イスラエル人とパレスチナ人が一緒に歩くピースウォークや、世界4大宗教者(仏教・キリスト教・イスラム教・ユダヤ教)が共に祈り、共同宣言を出すなど、異なる国籍、人種、宗教を持つひとたちが、お互いがお互いを認め、信じ合う姿が感動的でした。

この平和への願いは、2016年に引き継がれていきます。



エルサレムに到着した「平和の火」



O P I C S

第8回浄土宗平和賞 受賞対象者公募中

本ダーナと同封の募集要項の通り、第8回浄土宗平和賞の受賞対象者を公募している。前年までは、宗報の12月と12月発行のダーナに募集記事を掲載、全国教区長・教化団長には募集要項をお送りし、推薦をお願いしていたが、今年度から、募集要項を本ダーナに同封することとした。自薦他薦を問わず、多くの推薦をお願いしたい。

来年度のスタディツアーを企画

浄平協のメイン事業の一つ、スタディツアーを平成28年度に実施すべく、現在企画している。パラオでの戦没者慰霊、もしくはバングラデシュにて支援NGOの活動現場視察で検討しており、時期は平成28年12月、もしくは平成29年3月を考えている。詳細は、次号のダーナ(平成28年7月発行予定)にて。

滋賀支部で 今年も平和誓願法要が

浄平協滋賀支部は、昨年引き続き今年も「平和誓願法要」を行った。10月24日、滋賀県米原市の本山蓮華寺を会場に、多くの滋賀支部会員の参加のもと、戦後70周年戦没者追悼、差別戒名物故者追悼の法要を厳修した。法要後は、スティーブン・リーパー氏による『日本が世界を救



講演するスティーブン・リーパー氏

う』と題した講演が行われ、「平和文化のリーダーは、日本が担うべきだと」力説されました。参加者からは、「浄土宗僧侶として、平和ということに対して、どう考えどう行動していくかという

ことについて、改めて考える大切な指針を頂戴した」との感想が聞かれた。

NPOユニの アースキャラバン2015

別記の通り、仏教の利他の精神のもと世界各国でさまざまな支援活動をするNPOユニ主催の世界平和祈念イベント「アースキャラバン2015」に、浄土宗平和協会が共催、広島、京都、東京の3会場で開催された。

JPA事務局より

報告●浄平協事務局長・池野亮光

ブック・ギフト事業が、今年も3会場にて実施されました。今年は、告知が多少送れたことも影響してか、3会場合計で36名の応募者にとどまったことが残念ではありましたが、滞りなく授与式を終えることができました。

事務局長就任の初年度ということもあって、すべての会場に参加しましたが、各会場ごとにご担当の方による工夫があって、たいへん感激しました。

東京会場では、霜村事務局長が初めての授与式にもかかわらず、手際よく準備で留学生を迎える体制を整えてくれました。増上寺の境内では、ミャンマー祭りが開催されており、それもまた雰囲気盛り上げてくれました。昨年までの担当だった、斎藤理事がかけつけてくださったことが何よりもありがたかったです。

関西会場では、山川理事の取り仕切りで、福井淳史師との絶妙のコンビネーションでの運営が見事でした。知恩寺での数珠繰りは、留学生たちにとって、何よりの文化体験となったことでしょう。福原隆善台下から図書を授与いただき、厳かな式となりました。

名古屋会場では、留学生をまず抹茶でお出迎え。名古屋会場を担当いただく深谷理事の心遣いに感謝します。会場となった建中寺の村上住職が法要の導師、書籍の授与をお勤めくださいました。最後には、浄土宗平和賞受賞者の中野見夫上人のコンサートもあり、盛りだくさんの内容でした。

浄土宗平和協会（JPA）



会員募集

国や信条を超え、「平和」という人類共通の理念のために、志を同じくする人々による連携をめざす継続的なネットワーク運動として、浄土宗平和協会は会員を募集しています。入会希望、問い合わせは下記事務局へ。



ブック・ギフトin Nagoyaでの集合写真

[入会要項] 浄土宗平和協会（JPA）の活動にあなたも参加しませんか？

正会員

対象……浄土宗教師・寺族
会費……年間10,000円

賛助会員

対象……檀信徒、企業や宗教法人以外の団体
会費……檀信徒会員 年間 2,000円
法人会員 年間 10,000円（一口）

正会員は、入会時に「私たちは平和を祈念します」と記された会員プレートを贈呈します。賛助会員は、応援に感謝を込めて、会報ダーナに芳名を掲載します。正会員、賛助会員は、スタディーツアーに割引料金で参加できます。



平和念仏募金のご協力をお願い

平和念仏募金は、各NGO団体への援助、私費留学生に希望図書を贈呈するブック・ギフト活動、社会参加するお寺を顕彰する浄土宗平和賞などの活動に充てられます。

恐縮ではございますが、何とぞご協力賜りますようお願い申し上げます。

- ◆平和念仏募金は、浄土宗劈頭宣言にある愚者の自覚に立ち返り、「世界に共生」する平和・環境・福祉・人権などの諸問題に取り組むための募金です。
- ◆①世界の人々に役立つ、②共に学びあう、③社会にアピールする、④新たな人材を発掘・要請する一との方針のもと、国

際的に活躍するNGO（非政府組織）を支援しております。
◆私費留学生希望図書支援「ブック・ギフト」事業を行い、留学生へプレゼントした書籍の購入費として役立たせていただきます。

JPA 浄土宗平和協会4つ活動

- 1 平和念仏募金運動
- 2 ブック・ギフト事業
- 3 浄土宗平和賞
- 4 スタディーツアー・NGO支援

浄土宗平和協会役員・スタッフ

理事長……川副春海	専門委員……小林正道
副理事長……戸松義晴	茂田真澄
秋田光彦	参 与……荻野順雄
理 事……齋藤隆尚	監 事……村上真瑞
嘉藤哲也	小泉顕雄
吉水岳彦	事務局長……池野亮光
深谷雅子	事務局……山口洋典
山川正道	大崎信久
大河内大博	霜村真康
堀 真哲	

ご希望の方には詳しい案内の掲載された協会のパンフレット（入会用振込用紙つき）を同封いたしておりますのでご利用ください。

浄土宗平和協会（JPA）

〒605-0062 京都市東山区林下町400-8 浄土宗人権同和室内
電話075-525-0484 Fax075-531-5105

連絡・問合せ先：浄土宗平和協会事務センター

〒543-0076 大阪市天王寺区下寺町1-1-27

電話06-6771-7641 Fax06-6770-3147 メールjpa-info@jodo.or.jp

郵便振替口座【01020-5-16369 名義：浄土宗平和協会】

